

赤ちゃんからお年寄りまで誰もが暮らしやすい町に 男女混合名簿全小中学校で実現 ジェンダー平等の町へ前進



内海海岸

お年寄りにやさしい町に

補聴器購入費補助制度の創設を

問 認知症を予防し、高齢者の日々の生活を支える補聴器購入のため、補助制度を北名古屋市に見習い、創設が必要ではないか。



答 健康介護課

国は、「聴覚障害の補正による認知症機能低下の予防効果を検証するための研究」を実施している。今のところ、町独自の補聴器購入費補助は考えていないが、国の研究結果に注目し、他市町村の動向を注視していく。

多様性を尊重し、 ジェンダー平等の町に

男女混合名簿の導入状況は？

問 男女混合名簿を町内で導入している学校はいくつあるか。

本町でも男女混合名簿の必要性を各学校に伝える必要があるのではないかと。



答 学校教育課

すでに令和元年度から、人権教育推進の立場から小学校6校、中学校5校の全校で導入している。ジェンダー平等を含めた人権教育の推進はたいへん重要であると考えており、多様な個性とお互いの人権を尊重し合い、それぞれの個性と能力を伸ばし合える人間関係の中で心豊かな児童生徒を育成していく。

各種審議会・役場の管理職・ 議員へ積極的な女性登用を

問 町行政の抜本的な変革として、町の審議会等や役場の管理職、議員については女性等の数が一定確保されるクォータ制の導入を積極的に検討するつもりはないか。



答 企画財政課

令和2年4月1日現在における法令・条例に基づく審議会への女性登用率は14.96%、一般行政職における女性管理職への登用率は12.9%となっている。目標値を30%に設定し、「男女」とどまらず、年齢、国籍、性的指向・性自認にとらわれない「だれもが『自分らしく』いきいきと暮らせるまち」を目指して取り組みを進めている。現時点では「クォータ制導入」は考えていない。

再質問で、当局は各種審議会への女性公募等については、今後検討していくと回答しました。

また内田議員は、農業委員会等への女性登用も公募の周知の徹底が大事であると強調しました。



片名漁港



豊浜桜公園



今回の男女混合名簿の導入については、2018年9月議会でも質問しましたが、その時に混合名簿を導入していたのは、町内の小学校3校と中学校1校のみでした。

現在も他市町ではまだ導入できていない学校も多いと聞いています。南知多町で全校に導入されたことは素晴らしいことで、ジェンダー平等への大きな前進です。

今後、教育部長の回答にもあったように、形だけでなく、教育のあらゆる活動場面で、ジェンダー平等など人権を尊重した教育が進められることを期待します。(内田たもつ)

今回の町議会で、「南知多町の町長・町議会議員選挙での選挙公報条例の制定を求める請願」が町民から出されました。私は、議員になって最初の議会でのこの問題を取り上げ、その後も何度も議会や町長に要請してきました▼知多半島で「選挙公報」がないのは南知多町だけです。今回の町議会選挙でも、すべての立候補者の公約など、投票のための判断材料が町民に示されないのです▼なぜ立候補したのか、議員になったら何をしたいのか、どのような町づくりをしたいのか、立候補者は町民に示す責任があります▼町議会議員は単に区や団体の代表ではなく、町民・町全体のことを考えなければなりません▼第7次町総合計画にある「絆、選ばれる理由のある町」をめざすなら、選挙公報は当たり前です▼町民のための民主的な南知多町議会への一歩として、「選挙公報」の発行を！

内田たもつ日記

